

学科名	ダンスパフォーマンス科
コース名	
授業科目	H I P H O P 8
必選	必
年次	2年次
実施時期	後期
種別	実習
時間数	30
単位数	1
担当教員	MASAKI/GOTO/KENTO
実務経験	有
実務経験職種	プロダンサー
授業概要	この科目ではストレッチやアイソレーション等、基本的な体の動きを学び、ステップやコンビネーションを理解して作品を作る。 また振付を通して応用的なHIPHOPの表現を学びます。
到達目標	この科目ではHIP HOPの基礎的な体の動きを土台とした応用的な表現方法をコンビネーションやルーティーンを通して理解します。
授業方法	ストレッチ、体幹トレーニングによる基礎体力作り、アイソレーションを通して体の動き理解する。 毎レッスンテーマにそった課題振付を反復練習する事でステップやコンビネーションを修得する。
成績評価方法	成果発表 50% 授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する 平常点 50% 積極的な授業参加度、授業態度によって評価する
履修上の注意	前回レッスンの動き・ステップ・振り付けを自主練習して実習に臨む事。授業時数の4分3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。
教科書・教材	適時レジュメ・資料を配布する

授業計画	
第1回	KENTO先生応用④/アイソレーションや動きのメリハリに重点を置いた振付を実践する
第2回	KENTO先生応用⑤/自分で考えたスローな動きから細かな振付に入る動きで筋肉の動きや全体のメリハリを意識する
第3回	KENTO先生応用⑥/グループを作り全員で考えた動きと既定の動きをメリハリを意識して組み合わせ発表する
第4回	GOTO先生応用④/楽曲の意味を意識し、振付に感情をこめて表現できるよう実践する
第5回	GOTO先生応用⑤/既定の振付を用い、歌詞の意味や雰囲気を意識した自分の振付を続けて踊れるようになる
第6回	GOTO先生応用⑥/グループごとに考えた振付課題～自分たちの振付を感情をこめて表現できるようになる
第7回	MASAKI先生応用④/時間内に難易度の高い長い振付を覚え、少人数グループで全員の前で発表をする
第8回	MASAKI先生応用⑤/オーディション形式で時間内に振付を覚え、正確性・表現力の高い学生が全員の前で発表する
第9回	MASAKI先生応用⑥/既定の振付に続けて自分の振付を続け、正確性・表現力の高い学生が全員の前で発表する
第10回	卒業公演 振付①/振付師の考える楽曲・振付テーマ・表現したい内容を理解し、振付に取り組めるように準備する
第11回	卒業公演 振付②/ユニゾンパートの振付を練習する
第12回	卒業公演 振付③/ユニゾンパートの振付の精度をレベルチェックし、立ち位置を決める
第13回	卒業公演 振付④/オーディションを行いソロパート、少人数パートの出演者を決める
第14回	卒業公演 振付⑤/ソロ、少人数パートの振り入れを進め、ユニゾンパートに繋げる
第15回	レベルチェック/振付の精度を確認し、全体の構成をつける準備をする